

動画配信の危険性について

自分が撮影した動画をインターネットで配信できるサービスが人気を呼んでいます。なかには、スマートフォンひとつで動画配信を始めることができるサービスもあり、そうした手軽さから、友達と遊んでいる様子や、家での日常の様子などを撮影した動画を配信する子どもたちも増えています。

しかし、動画配信が身近なものになった反面、問題のある動画を配信する子どもたちがいるのも事実です。

過激な動画を配信する子どもたち

問題のある動画の内容としては、SNSでもよく問題になる、不適切な行為に関するものがあげられます。例えば、飲酒や喫煙を行っているものや、コンビニや電車内などの公共の場で友達とふざけて迷惑行為をしているもの、学校の授業の様子をリアルタイムで実況しながら撮影しているものなどが配信されています。

またなかには、性的な要素を含む動画を配信しているケースもあります。自宅で入浴している様子や、水着姿でダンスをしている様子などを配信しているのです。こうした行為がエスカレートして、自ら裸を見せてしまう子どもも出ています。



なぜ問題のある動画を配信するのか

では、そもそもなぜ子どもたちは問題のある動画を配信してしまうのでしょうか。

子どもたちの多くは、「いろいろな人とつながりたい」「もっと多くの人から注目を集めたい」という気持ちから動画配信をおこなっているようです。しかし、ありきたりな内容では視聴回数も伸びず、コメントもあまり残してもらえない。そこで、過激な行為をしてみたり、露出を増やしたりと、動画の内容がエスカレートしていくことがあるのです。

また女性配信者の場合は、わいせつ目的で近づいてくる視聴者が少なからずいます。そうした人物から言葉たくみに過激な露出へと導かれ、裸を見せてしまうケースもあります。

問題のある動画を配信すると、非難のコメントが集まるだけでなく、動画を録画されて別のサイトに載せられてしまう可能性もあります。子どもたちにはそうした危険性を理解させ、問題のある動画は絶対に配信しないよう指導することが大切です。